

水と緑と太陽の里・宜野座村

ぎ の ざ そ ん

宜野座村

市町村コード	473138	類型	Ⅱ-2
所在地	〒904-1392 宜野座村字宜野座296番地		
T E L	(098)968-5111	F A X	(098)968-5037
ホームページ	http://www.vill.ginoza.okinawa.jp		
指定地域	農業振興・産業高度・情通産振・情通産特・観光促進		

〈組織〉 (令和3年3月31日現在)

村長	とうま あつし 當 眞 淳 任期 R6.12.29 (3期)	副村長	やまし ろ さとし 山 城 智 任期 R3.3.31 (1期)
副村長	- - 任期 - -	教育長	しんざと たかひろ 新 里 隆 博 任期 R5.4.21 (1期)

〈概要〉

県下 19 位	総面積 R2.10.1	耕地 R2.7.15	宅地 R2.1.1
31.30 km ²	475 ha	968,838 m ²	

県下 26 位	住基人口 R2.1.1	H27国調人口	H22国調人口
6,106 人	5,597 人	5,331 人	
年少人口割合 20.4% (県全体 17.5%)	高齢化率	23.1% (県全体 19.6%)	

住基世帯数 R2.1.1	H27国調世帯数	H22国調世帯数
2,549 世帯	2,003 世帯	1,823 世帯

有権者数 R3.3.1	男	女
4,722 人	2,365 人	2,357 人

議長	いしかわ みきや 石 川 幹 也	副議長	とうま つぎのぶ 当 眞 嗣 信
議員	条例定数	現議員数	任期満了日
	12	12	R4.9.27
	常任委員会 総務財政、産業 経済	党派構成 12	無所属 - - - - - - - -

沿革	昭和21年4月1日 金武村より分離 村制施行
-	-
-	-
-	-
-	-
-	-

R2.4.1現在	合計	普通会計	特別会計
職員	100 人	91 人	9 人
人口千人 当たり職員数	16.37 人	14.90 人	1.47 人
各4.1現在	令和2年度	令和元年度	平成30年度
職員数 (普通会計)	91 人	90 人	87 人
類似団体	-	82 (83)	81 (82)
ラス指数	96.7	96.1	95.4

〈基本構想〉

基本構想	H28～R7	中長期財政計画	有
基本計画	H28～R2	(10年計画	-)
実施計画	-	(-	-)

〈村の花・木・鳥・魚/名所・旧跡/祭・行事等〉

村花	つつじ	村木	琉球松
村鳥	めじろ	村魚	ミーバイ(ハタ)
名所・旧跡	道の駅ぎのざ、漢那ダム、かりゆしカンナタラソラゲーナ、漢那ビーチ、松田鍾乳洞		
祭り、行事	宜野座村まつり、漢那ダムまつり、産業まつり、阪神タイガース春季キャンプ、宜野座村オープンガーデン		
名産・特産	さとうきび、パイン、マンゴー、イチゴ、花卉、馬鈴薯		
姉妹都市	愛媛県内子町、イタリア共和国ペシャ市		
その他	-		

〈令和3年度主要事業〉

区分	事業名	新・継	事業費
補助	通作条件整備事業	継続	133
補助	団体営農業基盤整備事業(松田地区)	継続	118
-	-	-	-
-	-	-	-

〈広域市町村圏・広域計画〉

北部広域市町村圏
地域経済活性化計画
-
-

〈基地面積〉 (R2.3末)

米国軍	
基地面積	1,586.3 ha
市町村面積に占める割合	50.7%
自衛隊	
基地面積	0.0 ha
市町村面積に占める割合	0.0%
合計	1,586.3 ha 50.7%
県面積に占める割合	0.69%

〈今後の主要プロジェクト〉

区分	事業名	実施年度	事業費
単独	ふれあい交流センター整備事業	R3-R5	1,500
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-

〈教育〉 (令和2年5月1日現在)

区分	施設数	児童生徒数
公立幼稚園	0園	0人
私立幼稚園	3園	76人
公立小学校	3校	492人
中学校	1校	231人
公立	1校	231人
公立以外	0校	0人

〈医療〉 (令和元年度)

区分	施設数	病床数
病院	1箇所	104床
公立	0箇所	0床
公立以外	1箇所	104床
診療所	2箇所	0床
公立	0箇所	0床
公立以外	2箇所	0床
住民千人当たり病床数		17.0床

〈財政〉

① 決算収支 (百万円)

区分	H29年度	H30年度	R元年度
歳入総額	8,589	7,730	7,937
歳出総額	8,295	7,492	7,678
形式収支	293	238	259
実質収支	201	191	135
比率	9.5%	8.8%	6.1%
積立金	286	349	343
積立金取崩額	280	282	438
実質単年度収支	48	56	△151

③ 公営事業会計等における繰入金の状況 (R元年度 百万円)

区分	実質収支	繰入金	うち財源補填的繰入金
国民健康保険事業	5	138	9
老人保健医療事業	0	0	-
介護保険事業(保険)	0	0	-
後期高齢医療事業	0	13	-
区分	実質収支	繰入金	うち標準外繰入
法非適			
下水道事業	2	36	35
-	0	0	0
-	0	0	0
-	0	0	0
-	0	0	0
法適			
上水道事業	48	106	106
-	0	0	0
-	0	0	0

④ 歳入の状況 (R元年度 百万円)

区分	金額	構成
地方税	630	7.9%
地方譲与税	30	0.4%
地方交付税	1,439	18.1%
普通交付税	1,305	16.4%
特別交付税	134	1.7%
国庫支出金	1,212	15.3%
県支出金	753	9.5%
地方債	178	2.2%
その他	3,695	46.6%
歳入総額	7,937	100.0%

⑤ 歳出の状況 (R元年度 百万円)

区分	金額	構成
人件費	1,106	14.4%
物件費	1,206	15.7%
扶助費	738	9.6%
補助費等	1,840	24.0%
公債費	340	4.4%
普通建設事業費	1,134	14.8%
補助事業費	812	10.6%
単独事業費	316	4.1%
その他	1,314	17.1%
歳出総額	7,678	100.0%

〈産業〉 ① 産業別就業者数 (H27国調)

区分	就業者数	構成比
第1次	415人	15.8%
第2次	389人	14.8%
第3次	1,821人	69.4%
合計	2,625人	100.0%

〈福祉〉

区分	施設数	収容定数
保育所(R2.4.1)	3箇所	297人
公立	1箇所	77人
公立以外	2箇所	220人
生活保護率(R元年度平均) 人口千人当たり		15.60人

② 村内総生産 (H29年度実数)(百万円)

分類	純生産	構成比
農林	715	4.4%
水産	168	1.0%
鉱・製造	0	0.0%
建設	3,299	20.4%
電気ガス水道廃棄物	361	2.2%
運輸・郵便・通信	2,311	14.3%
卸売・小売	437	2.7%
金融保険不動産	1,501	9.3%
宿泊・飲食サービス	374	2.3%
専門・科学技術支援	1,435	8.9%
公務・教育	2,658	16.4%
保健衛生社会	2,026	12.5%
その他サービス	925	5.7%
合計	16,210	100.0%

② 主要指標 (百万円)

区分	H29年度	H30年度	R元年度	順位	県平均	市平均	町村平均
財政力指数	0.30	0.30	0.31	25	0.39	0.55	0.33
標準財政規模 a	2,127	2,172	2,206	29	8,519	23,170	3,148
経常収支比率	80.1	80.4	84.5	8	89.6	91.1	86.0
人件費	28.7	29.3	30.0	30	23.6	22.9	25.4
扶助費	6.1	6.3	6.3	19	17.2	20.6	8.5
公債費	9.7	10.0	10.3	7	14.1	14.3	13.3
物件費	13.4	14.1	15.4	15	15.1	14.8	16.1
その他	22.2	20.7	22.5	28	19.6	18.5	22.7
実質赤字比率	-	-	-	-	-	-	-
連結実質赤字比率	-	-	-	-	-	-	-
実質公債費比率	6.9	7.7	8.8	31	7.5	8.0	6.4
将来負担比率	-	-	-	-	23.0	39.9	-
税徴収率	98.3	98.4	98.5	4	0.0	0.0	0.0
現年課税分	99.1	99.3	99.3	8	0.0	0.0	0.0
滞納繰越分	58.2	39.3	46.1	5	0.0	0.0	0.0
債務負担行為額 b	0	361	775	-	-	-	-
b/a %	0.0	16.6	35.1	-	-	-	-
地方債現在高 c	3,359	3,232	3,096	-	-	-	-
c/a %	157.9	148.8	140.4	10	-	-	-
積立金現在高	3,315	3,711	4,038	-	-	-	-
財政調整基金	628	695	600	-	-	-	-
減債基金	212	262	262	-	-	-	-
その他特目基金	2,475	2,754	3,176	-	-	-	-
住民1人当たり税負担(円)	99,455	103,463	103,219	16	-	-	-
自主財源比率	47.3	49.7	51.4	3	-	-	-

〈行政の特色〉

「水と緑と太陽の里・宜野座村」を村づくりの目標として次の6つの方向を定めます。

- ①子ども達の笑顔あふれ文化を育み時代を担う「人づくり」
- ②生涯健やかで地域で支えあう「健康と地域福祉づくり」
- ③自然と共生した環境にやさしい「循環型社会づくり」
- ④魅力と個性にあふれた「産業づくり」
- ⑤安心・安全で快適な「環境基盤づくり」
- ⑥知恵と力を結集してみんなでつくる「むらづくり」